

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	張 仕英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
zhang@am.wakwak.com	

【主題および達成目標】
中国語の正しい発音と基礎文法を習得することが、目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
『身につく 中国語コミュニケーション 入門篇』（著者:範建明、隆美出版） 辞書や参考書は授業中に紹介する。

【授業内容とその進め方】
<p>まず, 前期前半の5~6回分の授業で, 中国語の発音における音声や声調を中心に指導を行う。</p> <p>その後, 基本語彙や簡単な文法知識を教える。最も使用される頻度の高い200前後の語彙とそれらを用いて文を作るコツに注意を与えながら繰り返し練習する。前期の授業を何よりも音声と声調の練習を中心に進めて行く。後期の前半は, 音声と声調の練習を深めながらより長い本文の音読を習得させ, 学生は楽しく音読の練習ができるように指導を行う。</p> <p>後期の後半になると学ぶべき文法知識と語彙を教え, 簡単な作文ができるまで授業を進める。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

練習問題の回答などの学習態度、出席率、定期試験の成績を総合的に評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

随時応じる

【学生へのメッセージ】

中国語は、中国の歴史、文化から出来たもので、出来れば中国に行って体験したほうがいい。
出来なければ中国に関心を持ってやってください。

【その他】

中国語、声調、簡体字